



北海道足寄町

贈呈理由

ヒートポンプ空調・給湯システムの採用により、寒冷地におけるホテルの省エネルギーを実現

北海道



個別分散



ヒートポンプ給湯



ホテル レウス アショロ

足寄町産カラマツを使ったビジネスホテルが誕生

道東に位置する足寄町は、十勝内陸気候の影響を受けるため寒暖の差が極めて大きな地域で、北海道を代表する歌手、松山千春の故郷としても知られている。

株式会社ASCOMは、主事業である建設業に加え、社会貢献にも繋がる新規事業の導入を検討していた中、阿寒、摩周湖などの恵まれた観光資源を持つ足寄に宿泊施設が少ないことに着目し、今回、地域に寄りそうビジネスホテルを開業することにした。

足寄町産カラマツを使用した木造2階建て、全30室のホテルは、町の経済活性化も意識し、構想当初から「地材



ツインルーム

地消」をテーマとしている。足寄町産木材の使用を前提に、建設にはボルト・ナット不要の独自工法である「パワービルド工法」を採用。施工性に優れ、高い耐震性が特徴といえる。さらに、断熱材も足寄町産のカラマツ材を使って製造。蓄熱性に優れた木質断熱材「ウッドファイバー」は、道内でも屈指の極寒冷地にも関わらず、暖かく快適な空間づくりを実現可能としている。

宿泊施設として高い安全性と快適性を求めたオール電化施設

宿泊施設としての安全性と快適性を第一に考え、空調や給湯、厨房に至るまでオール電化システムを導入。空調は、外気温-25℃まで対応できる電気式ヒートポンプ（個別分散）を採用した。極寒冷地においても安定した温風で客室はもちろん、全館で快適な暖かさを実現させ、省エネルギーの実現にも大きく寄与している。

給湯は、夜間電力を活用した業務用エコキュート3台でタンクにしっかり貯湯し、全30室分の入浴やシャワー、洗い物を賄う。昼間の追い掛け運転も



業務用エコキュート室外機

できるため、湯切れもなく常に安定した湯量を保つ。厨房に完備したスチームコンベクションオープンなどの電化機器は、生産性の向上にも役立っており、30室分のボリュームもスタッフ1人でスムーズに調理するなど、人手不足にも対応している。

戸建てや集合住宅と同様に、木造建築はオール電化と相性が良いことに加え、高性能の断熱材の採用により極寒地を感じさせないホテルレウスアショロは、今後もサービス面の強化を意識しながら、足寄町のインフラとしてより一層存在感を発揮していく。



業務用エコキュート貯湯タンク

ホテル レウス アショロ

所在地：北海道足寄郡足寄町北3条1-3-1
 建築設計：MEPHIST
 建築施工：宮坂建設・木村建設・森下組共同企業体
 設備設計：株式会社（設計構造協力）
 設備施工：宮坂建設・木村建設・森下組共同企業体
 延床面積：1,053㎡
 竣工：2019年新設
 URL：<https://hotel-reus.com/>



■設備概要

業務用エコキュート15kW×3台 蓄熱槽5㎡
 （日立グローバルライフソリューションズ）
 電気式ヒートポンプ（個別分散）
 5馬力相当×1台、10馬力相当×1台、
 12馬力相当×1台、14馬力相当×2台（三菱電機）